

貞姫様へ被進金等請取手形「病中及床揚後」				け二五二
1 被進金請取手形 小山田菅右衛門 高田幾太宛 丑七月			164	一通
2 被進物等品々入料貞松院様分請取手形 小野肇 同前宛 安政二年四月			247	一通
3 被進金請取手形 鹿野茂手木 片岡十郎兵衛宛 安政二年二月			247	一通
珠光院へ被進金請取手形 宮多 白井要人宛 三 月二七日			159	一通 け一四六
珠光院様へ被進金書類				け一三五
1 磯田小藤太用状「三〇両渡方」 宮下孫兵衛宛 正月九日			155	一通
2 計政副主事伺書 二月			155	一通
3 磯田小藤太用状 宮下孫兵衛宛 三月十九日			156	一通
御 仕 向				
年中御仕向用状類				け一六四
1 御守役用状 被仰渡書写共「御在城中御仕向」 鹿野茂手木・竹内晋平 矢野唯美・山中鹿渡宛 七月五日			165	二通
2 貞松院様御守役用状「年中御仕向」 衛門・小野肇 同前宛 七月七日			宿紙 142	一通
3 御仕向帳書抜「貞松院御仕向勤方」			宿紙 143	一通
4 御守役御仕向調書抜			宿紙 145	一通

5 貞松院様御守役用状「御仕向使者勤方依頼」 谷口・小野 山中・矢野外宛 七月七日			宿紙 144	一通
八千世姫様御引移りニ付御召しらべ帳扣覚 〔年中式日并平日召物目録〕			横長 24 162	飯四冊 け一五二
病氣・療養				
横山玄庵年中差上薬数量申上書 一二月			149	一通 け一七〇
柴田芸庵薬礼御入料一紙 「若殿様分」 嘉永三 五年				け一六七
1 〔酉年分〕 嘉永三年正月			245	一一通
2 〔戌年分〕 嘉永四年正月			145 ほか 253	一九通
3 〔亥年分〕 嘉永五年正月			154 ほか 249	一九通
柴田芸庵御入料一紙「若殿様正月と五月分」御台 所目付 嘉永五年七月			237 155 ほか	一綴 け一六六 (九通)
御遺物 (その二) 葬送を参照)				
大暁院様御遺物入料請拂勘定一紙 突合受取書 共「絹布、木綿、刀箱、表装その他」 渡辺富之 丞 文政二年八月と十一月			286 ほか	一綴 け一七七 (七七通)
大雲院様御遺物諸色入料請拂勘定一紙 突合受 取書共 南部坂御台所元ノ酒井友左衛門、岡田新 兵衛差出 天保一五年ノ一〇月			381 ほか	一綴 け一七六 (四四通)
御遺物品々断書上帳「天真院御遺物」 南部坂御 台所役所 文化二年九月			横半 128	一冊 け一七六 一一
御尋物答書「文聰院様御道具類長国寺へ納方」 (明治二年) 一一月			宿紙 124	一通 け一六〇

御膳番

御膳所向料理人等拝借金評議書類「京都出陣中禁門之變にて衣類等焼失のため拝借願出」 元治元年

け一七五

1 料理人願書 大谷津又蔵・堀井泉蔵 七月

宿紙<sup>24</sup>

一通

2 佐藤安喜用状「各人被害程度取調方依頼」 御膳番宛 八月二日

宿紙<sup>43</sup>

一通

3 衣類等取調書「当日着用衣類及搬出品々」 料理人 八月

宿紙<sup>38</sup>

一通

4 申渡書「1への指示」 御膳番宛

156

一通

料理

料理献立積り書 献立書扣共 売茶亭

153

三通 け一六三

料理献立積り書 酔月楼

166

一通 け一六三

料理献立積り書 酔月楼彦兵衛 七月

155

一通 け一六三

料理解立積り書 酔月楼彦兵衛 七月

156

一通 け一六四

年末年始御膳献立案 御勝手元 辰二月

150

一通 け一六五

台所

御台所諸色入料勘定一紙 元石川藤治郎、小林 太一郎 斎田虎尾宛

242 ほか

け一七三

1 「寅三月分、酒、塩、味噌、醤油、蠟、松材、豆腐、鯛、箸など」 慶応二年五月

(一七通)

2 「寅七月分、同前」 慶応二年九月

(二一通)

3 「寅八月分、同前」 慶応二年一〇月

(二一通)

4 「寅九月分、同前」 慶応二年一〇月

(二一通)

大殿様御台所諸色入料請拂勘定一紙 元佐藤 元吉、大日方渡・藤田岡之進 池田富之進宛

け一六三

1 「辰七月中、干葉、附木、杓子、桃灯、庖丁修理、桶など」 明治二年四月

246 ほか

(一六通)

2 「辰八月中、黄粉、附木、薬罐修理、平鉢、菜台、桶など」 明治二年五月

246 ほか

(七通)

3 「辰九月中、同前」 明治二年六月

246 ほか

(九通)

4 「辰十月中、同前」 明治二年六月

246 ほか

(七通)

5 「辰十一月中、同前」 明治二年六月

246 ほか

(七通)

6 「辰十二月中、同前」 明治二年六月

246 ほか

(一七通)

去寅御膳所入料「八月〜十月分」

155

一通 け一六四

御台所入料金高取調書「拂残分及び見込」 用度 属 明治三年閏一〇月

155

一通 け一六五

御奥御台所納炭代金滞分書上「明治二年貞松院真晴院両御奥納入分」 高岡村徳右衛門 明治五年

横折 128

(一綴)

御召馬

御預り馬飼料手段金請取証文「竹村金吾預り御召馬斃ニ付同飼料手段金」 御厩小頭金原銀之助・稲葉恒作 中島宇吉外宛 天保六年三月〜同八年五月

240

三通 け一六八

若殿様御召馬飼料請取証文「去ル未年斃ニ付」 同前 同前宛 天保八年三月、五月

247

一通 け一六二

奥女中(『その二』八〇〜八一頁を参照)

覚帳「表使等宿下り規定」 南天御次

横半 125

一冊 け一六三

御奥女中被下物定「下宿中扶持菜銀の期間別規準」

162

一通 け一六三

女中下宿中被下物定写「病氣養生御暇中扶持菜銀被下方」 文政二年	159	一通け二六四	御側のふ御暇願「病氣養生のため」 本多伯耆守内今井幾太郎 同前宛 文久元年一月	340	一通け二六五
御奥元ノ役再伺書「中奥仲間動方」 四月	宿紙 157	一通け二六五	御末明石御暇願御下ケ願「縁組不調ニ付勤続」 登戸村医師良「御奥役人衆宛 慶応四年正月	351	一通け二六五
家老御書取「磯田小藤太娘さくら御小姓御雇」 御奥元ノ役宛	宿紙 269	一通け二六一	奉公人紅梅差上一札「夫新助不埒御聞済の上にて奥向再勤」 清野村新助女房紅梅 佐藤小左衛門宛 明治二年七月	277	一通け二六五
御尋物答書案「順操院殿使廻り一人渡方」	宿紙 268	一通け二六四	女中支度金拝借証文「妹松の被召抱に付」 大野左平治 長谷川三郎兵衛宛 安政六年五月	301	一通け二六五
馬場弥三郎申上書「老女米田等郡山表へ差送立出日限」 五月一〇日	153	一通け二六三	女中支度金拝借証文案「妹の御側御雇の節」 大野殿様附女中菜銀請取渡証文 松本賢吾 齋田虎尾外宛 慶応二年五月、同一一月	149	一通け二六七
新御殿奥女中名前書上案「老女上席以下四人」 新御殿御守役 巳六月	257	一通け二六六	御末時雇被下物代金請取証文「西村孝三郎伯母常盤」 鹿野茂手木 佐藤為之進宛 慶応四年六月	240	一通け二六六
奥向女中等暇及再勤願書			女中死去手向金請取証文「千代野」 玉川市郎兵衛 役人中宛 六月二二日	245	一通け二六六
御側女中はる御暇願「縁組のため」 松平甲斐守家来牧田佐右衛門 堀川権左衛門宛 天保一二年一二月	355	一通け二六四	預金元拂殘金引渡勘定書「奥女中賄菜銀及麦管代差引」 久保極人 宮下謙大夫宛 七月二日	123	一通け二六〇
御末明石御暇願「同前」 赤坂田町四丁目松山佐吉 岡田新兵衛宛 嘉永六年八月	315	一通け二六四	女中等へ被下物「住江以下一人」	123	一通け二六〇
御末とみ御暇願「病母看病のため」 松平十郎麿家来永井善次郎 同前宛 嘉永七年七月	268	一通け二六四	女中等へ被下物「根来斧右衛門娘美代」 明治二年	159	一通け二七五
藤御暇願「父看病のため」 松平時之助内鳥羽大八 同前宛 安政二年三月	283	一通け二六四	御側時雇女中被下物書類	167	一通け二七六
御次いつ御暇願「縁組のため」 松本賢吾 同前宛 安政二年四月	315	一通け二六五	1十一月十二月両月分取調帳 新御殿御奥支配添役 二月	167	一通け二七六
御仲居柏木御暇願「老母看病のため」 今井三谷町金子屋伝助 同前宛 安政五年二月	334	一通け二六五	2代金受取証文 南沢甚之介 岸善八宛 一月	245	一通

3代金受取証文 岩下半兵衛 岡野敬一郎宛 一 二月	258	一通
河原敬之進用状「奥女中拝借金」 宮下謙大夫宛 二月二十九日、正月一日	宿紙152	三通け1704
浦野勇右衛門用状「九月中奥女中菜銀廻付依頼」 片桐重之助宛 一〇月九日	宿紙155	一通け1708
<b>家中</b>		
<b>奥 勤 方</b>		
御奥御使廻り跡式願 御添役宛 慶応四年八月		け1655
1 「新御安口与右衛門三十才へ」 文太	280	一通
2 「小林隣之助長屋吉太郎五十才へ」 喜作	281	一通
3 「鍛冶町利作三十七才へ」 常次郎	279	一通
御勝手元ノ御尋物答書 「貞松院様御広式帳付組 除之儀」 九月二十八日	宿紙155	一通け1600
柘植嘉兵衛用状 「御奥使廻り勤方被仰渡伝達」 御守役・御奥元ノ役宛 三月二〇日	宿紙154	一通け1611
<b>維新後家中</b>		
武田斐三郎家内四人上東京入用伺書類		け1711
1 飯島与作伺書 「御借人・道中賄・出立後片付 等」 五月	156	一通
2 上京入用凡積取調書	156	一通
3 指図書 「伺之通」 飯島与作宛	160	一通
4 武田斐三郎御借人へ渡金覚	156	一通
河口多喜人略歴調書 「河口左文太の弟、母看病 のため若松県調役より帰国滞在」(明治三年カ)		け1633
1 河口多喜人差出書 七月	192	一通

2 河原左京用状 勘返状 用番宛 七月二十九日 (八月一日)	157	一通	
三井孝右衛門外六人宥免願書類 「下筋出兵にて賞典を受けた後、結党集会等により御咎の処、大變革を機に赦免復権を願出」 明治四年			け一六三
1 割番申上書 「三井孝右衛門復権」 七月	155	一通	
2 割番申上書 「小頭六人復権」 七月	154	一通	
3 副隊長補伺書 「両件伺」 八月	159	一通	
4 下筋出張五番隊物代願書 「前号添付」 割番所宛 七月	包紙 275	二通	
5 金児弥高外歎願書 「前々号添付」 八月	156	一通	
6 久保三郎御尋物答書 監察認可 八月一〇日	152	一通	
7 議事御尋物答書 八月一六日	156	一通	
8 監督御尋物答書 九月七日	157	一通	
9 跡式人等名面	146	一通	
○旧藩士屋敷			
座間吉人歎願書 恩田新六拝借地絵図共 地差支 = 付恩田新六屋敷地之内を貸渡願 四年三月、四月	包紙 152 277	一通 け一六〇 二枚	
増田愛之進願書 「屋舗地被下方」 松代庁宛 明治五年二月	包紙 152	一通 け一六二	
今井友之進願書 「同前」 同前宛 明治五年二月	包紙 152	一通 け一六三	
内川治三郎願書 「御城内建家拝借」 同前宛 明治五年二月	包紙 150	一通 け一六三	

坂巻与兵衛願書 写共「借地明渡ニ付元宮繕方役所之内拝借願」 同前宛 明治五年正月 包紙 149 二通 け一六四

丸茂文逸・平野玄祐願書 写共「御貸長屋据置又は御用屋敷へ転住」 明治五年二月 包紙 5 二通 け一六五 253

明治期史料

政治所

徳川家へ御助力伺出願書 辰(明治元年)

封紙入

け一四九

1 河原左京添状 鎌原伊野右衛門宛 一月二〇日

149

一通

2 玉川一学申上書 一月一八日

182

一通

3 行政官官掌召喚状 真田家来宛 一月一七日

188

一通

4 真田信濃守(幸民)伺書并附札 口上書写共  
玉川一学 弁事役所宛 一月一一日

194

二通

伊那県通知状 「伊那県大参事宣下通知」

封紙193

一通 け六三

藩宛 (明治三年カ) 正月二三日

普仏交戦中居留人旅行之儀通達書類 明治三年八月

け六九

1 民部省達書 「仏字戦争中三港居留人陸路通行取  
計方」別紙共 松代藩宛

196

二通

2 民部省書付 「松代・小諸・上田三藩名」  
藩宛

196

一通

3 玉川一学申上書 「前二号回付及小諸・上田両藩  
へ回達報告」 八月八日

199

一通

4 大参事用状 「前号回付」 大熊董 真田桜山宛  
八月一〇日

宿紙51

一通

盛岡県出張後帰藩途中駅通規則違反取調書類  
「元盛岡県権大属中村小一郎 坂西広良 竹内多吉  
ら駕籠人足遣に非法の件」 明治三年

け八四

1 公用人申上書 「駅通司を違反の旨口達を受け取  
調方依頼」 六月二〇日

165

一通

2 監察申上書(別紙欠) 「三人の事情聴取の上各  
申立を添えて答申」 七月

190

一通

3 松代藩返答差出書扣 三人答書写共 公用人玉  
川一学 駅通役所宛 寅年七月一八日

野紙276

二通

4 公用人申上書 「前号による駅通司の反応を報告」  
七月一八日

183

一通

5 少参事評議答書 「六〇八号を添えて三人の処分  
を答申」 七月三〇日

144

一通

6 三人へ御沙汰草案 「次号別紙」 議事

147

一通

7 議事評議答書 七月

148

一通

8 監察評議答書 大監可 七月

147

一通

9 少参事申上書 「三人遠慮の日報」 八月四日

149

一通

10 大熊董用状 別紙共 「三人取調申入」 真田桜  
山宛 六月二日

182

二通

11 真田桜山用状 「少参事取調の趣書面送付」 大  
熊董宛 七月二日

149

一通

12 金井麗水用状 「監察尋問委細書面送付」 宛名  
不明 七月

149

一通

13 大熊董用状 真田桜山宛 七月二四日

164

一通

監手申上書 「廢藩後富山・金沢両県下風説穿鑿」  
明治四年八月

155

一通

地図取調

- 信濃国地図取調一条 明治元年二月  
け二八六
- 1 執政用状「以下書類回送添付」 赤沢助之進 鎌原伊野右衛門宛 四月五日  
封筒入 178 一通
- 2 府県掛弁事通達「地図仕様」 一月七日  
181 一通
- 3 真田家公用人伺書并御附札「各藩県申合の上管下領地色分けにて全図差出の事」 公用人北沢職之助 弁事役所宛 三月晦日  
194 一通
- 4 公用人申上書「前号伺書御附札を受けて伊那県など取調方」 北沢職之助 四月四日  
181 一通
- 信濃国地図取調一条「松本藩高附帳借受書類」 明治二年  
封筒入 け二七七
- 1 御勝手元々申上書 七月  
155 一通
- 2 野中喜左衛門申上書「同前別紙、戸田丹波守家米阿尾勝右衛門へ面会之上同藩高附帳預り之儀」 七月六日  
151 一通
- 3 玉川左門用状 赤沢助之進宛 七月七日  
149 一通
- 4 北沢職之助申上書「駅通司へ差出の所不用に付御下乞」 七月二六日  
164 一通
- 5 松本藩阿尾勝右衛門請取書「貸渡中の高附帳返却受領」 野中喜左衛門宛 二年九月  
280 一通
- 他藩士預
- 村上藩士御預り書類 明治二年  
け二七〇
- 1 玉川一学申上書「加茂卜助、鈴木乙五郎御預ケ之旨弁官の次号御渡しに付彈正台へ引取りに罷出る旨」 一〇月朔日  
188 一通

- 2 太政官御書付 松代藩宛 一〇月  
212 一通
- 太政官御書付「村上藩士江坂正之助御預ケ」 松代藩宛 明治二年十一月  
212 一通 け二七九
- 太政官御書付「村上藩士三人御預ケ御免」 松代藩宛 明治三年五月二二日  
包紙付 212 一通 け二七三
- 岩村田藩士大原秋治赤岩宇賀之助護送一条  
け二七六
- 1 柘植嘉兵衛用状 鎌原伊野右衛門・大熊衛士宛 一二月二六日  
153 一通
- 2 柘植嘉兵衛用状「京都表へ申入の写」 真田志摩・赤沢助之進宛 一二月二五日  
152 一通
- 3 大原秋治御預中入料書出 (柘植貼添申上) 御台所・御買物役宛  
158 二通
- 4 警固向拝借金其外品々御入用調  
仮横帳 24 一冊
- 静岡藩士帰藩書類類案「同藩今井三省上戸倉宿に帰農中の処、帰藩立立の節に交付の書類、追記にて所持藩札引替願の件、末尾未完」  
160 一通 け二八四
- 廢藩以後
- 元盛岡県書記申立評議書類「午年二月以前帰郷者月給在京官員にて配分の件」 明治五年  
け二八五
- 1 小幡静御尋物答書 三月  
168 一通
- 2 調役申立書 竹内多吉・坂西広見 三月  
153 一通
- 松代住貫属士卒取締出仕請書 扣及案 長野県庁宛 明治五年三月  
147 一通 け二八六
- 玄米受取証 捕亡 松代取締長谷川昭道宛 明治五年三月  
長野県書紙紙 275 一通 け二八九

明治五年會計雜書類 明治五年		御内借金返納御流願書 小野忠政宛 明治五年	
1 紙札発行金高調 五月晦日調	宿紙 153	1 中町吉兵衛 九月	277 仮一冊
2 酒井市治申上書 [町方借入金取調出張人へ御手充被下立] 七月	149	2 中町龜吉女たい 九月	277 仮一冊
3 旧松代藩届書案(断片) [士族用達金高長野県へ届] 二月	149	3 鍛冶町安川金藏 九月	279 一通
4 調達金高届書写 佐藤美与喜 長野県庁宛 二月	149	4 鍛冶町巳之吉後家戸谷ひさ 九月	274 一通
5 河原権大参事差函書 [上田管下村々借入金利分支出] 會計懸宛 七月二一日	155	5 鍛冶町牧野東作 九月	279 一通
6 諸向総入料凡積 [海陸軍監・賞典・月給藩用等] 横折 137	157	6 鍛冶町栗木重藏 九月	276 一通
7 諸手充申談箇条	149	7 中町芳三郎 九月二五日	277 仮一冊
8 某用状 [天代村安兵衛調達金再調伺] 八月一三日	149	8 中町和田長三郎 一〇月	278 一通
9 某用状案 [甲斐国三人方借入金]	152	9 中町田中新三郎 一〇月	277 仮一冊
10 犀川・煤花川川除金高覚	宿紙 155	10 中沢久右衛門 一〇月	277 一通
11 職事史生月給案 出納方宛	149	11 中町相原□治郎 一〇月	277 仮一冊
12 用達金差出人へ被下物案	152	12 中町市左衛門子市太郎 一〇月	275 仮一冊
元御雇組貝役願書写 [去巳年西京詰中鉄砲磨等兼勤御手充願] 落合峯治・佐藤栄之丞 元武庫方役所宛 明治五年七月	仮綴 241	13 木町池田富作 一二月	277 仮一冊
日影村借用人親類惣代・組合惣代願書 [同村三十郎村上納金持運中盜賊に遭い家出後、家財処分にて不足分を拂切之儀] 小野忠政宛 明治五年九月	277	14 鍛冶町真峰小三郎 (宛ナシ) 一二月	278 仮一冊
	仮一冊 け二七六	15 [同町栄藏・伝右衛門借用分代願] 肴町肴問屋 古森佐助 小野唯之進宛	275 仮一冊
		壬申年御賞典半高分請取證文 春原織右衛門・竹村子習・恩田新六・長谷川昭道宛 明治六年一月二一日	250 一通 け二七五

け二七三

け二七四



松代町旧屋願書 矢野唯見付札 「戊辰役人馬荷物賃錢御下ケ」 杭全鉄之助・滝澤惣八郎 明治六年二月  
 青鷲紙 一通 け二六

家扶所

飯米代下金受取証 買上受取書共 「二月〜八月分」 155

中沢保孝 石倉秀孟宛 明治九年八月 (一四通) け二六三

当用金預証写 「難及褥等の拂下料の内」 石倉秀孟 明治九年八月 158 一通 け二七六

御飯米代下金受取証 「九年九月〜二月分」 157 ほか (一通) け二八四

中沢保孝 石倉秀孟宛 明治一〇年二月二七日

飯米代請取証 売上証文添 中沢保孝 石倉秀孟宛 明治一〇年七月 同一一年三月 152 ほか (三通) け二七〇

賞状案 中沢芳三郎宛 明治一二年三月二〇日 184 一通 け二八七

中借金請取証綴 「白米・用紙等買上代・月給・町方拂など」 前島好謙 佐藤則通宛 明治一四年七月〜同一五年二月 153 ほか (二一通) け二八二

諸買上物等書出并受取書綴 「税金・米・炭・職人手間・人力車賃など」 新御殿、奥役所宛 明治一四年 250〜 129 (六一通) け二八五

松代邸支出受取書類 「税金・協議費・日用買物代など」 明治一四年 150 ほか (五綴(五五通) 三通) け二七三

諸受取書綴 「税金・諸買物・送荷物など」 新御殿役所 前島好謙宛 明治一四年〜同一五年 合綴 256〜 108 (七五通) け二八四

その他

毛利大膳父子減刑歎願書写 「家老益田右衛門等騒擾一件につき蟄居中」 元治元年十一月 258 仮一綴 け二八〇